

入札制度など学ぶ

技術講習会に約200人

建設協
東北建
東マ



東北建設マネジメント技
術協会(秋葉敬治代表理
事)は25日、仙台市のト
クネットホール仙台で建設
マネジメント技術講習会を
開催し、約200人が東北

地方整備局の入札制度など
発注者支援業務に必要な知
識を学んだ。

講習会は発注者支援に携
わる技術者を対象に専門知
識の習得と技術力向上を目
的に毎年実施している。

秋葉代表理事は「発注者
を支援する立場のわれわれ
としては発注者と同等の情
報把握による技術力とマネ
ジメント力が必要だ。その
ためにも本日の講習会を重
要なものとしてほしい」と
あいさつした。

この後、東北整備局企画
部の佐藤彰技術調整管理官
ら4人が講師となり、公共
事業を取り巻く最近の話

題、総合評価落札方式、入
札契約制度の取り組み、i
-Construction
nの主な取り組みなどを講
義した。

2000人参加し 技術講習会開催

東北建設マネジメント
技術協会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は25日、仙台市青葉区のトークネットホール仙台(仙台市民会館)で2023年度「建設マネジメント技術講習会」を開いた。写真。東北地域づくり協会(渥美雅裕理事長)が共催し、発注者支援に関わる技術者の専門地域の習得と技術力向上を目的に開催した。会場には会員企業から2000人が参加。このほか後日、580人が動画受講する予定だ。

冒頭、あいさつした秋葉代表理事は「発注者支援業務を担うわれわれは、発注者と同等の技術力とマネジメント力が必要だ。そのた

めにもこの講習会は重要で意義があるものだ」と述べた。

講習会では東北地方整備局企画部の佐藤彰技術調整管理官が公共事業を取り巻く最近の話題を提供。このほか整備局の総合評価方式や入札契約制度、i-Constructionの主な取り組みについて動向を紹介した。



会員ら200人参加 技術動向に注目

東北マネ技協が講習会

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は25日、仙台市内のトークネットホール仙台で2023年度建設マネジメント技術講習会を開いた。写真。東北地域づくり協会と共催した講習会には、会員や関連企業の技術者ら約200人が参加し、建設マネジメント技術の動向などに耳を傾けた。



葉代表理事は「今後の国土交通行政の重要な内容が盛り込まれており、発注者を支援する立場のわれわれとしては、

発注者と同等の情報を把握し、実力を備えることが必要だ。実のある講習会にしてほしい」と語った。

この後、東北地方整備局企画部技術管理課の佐藤彰技術調整管理官が「公共工事を取り巻く最近の話題について」、石村靖課長補佐は「総合評価落札方式」、長谷川聡建設専門官は「入札契約制度の取り組み」についてそれぞれ講演した。また、同部施工企画課の都島健一建設専門官が「i-Construction」の主な取り組み・最近の話題を提供した。

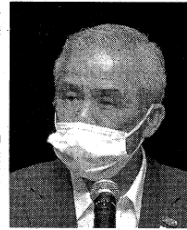
東北建マネ協



東北地方整備局の職員から国土交通行政の今後の重要な内容について講義を受けた

国の入札や動向学ぶ

東北建設マネジメント技術協会(秋葉敬治代表理事)は25日、仙台市内で建設マネジメント技術講習会を開催した。東北地方整備局の職員から入札制度の取り組みやイコノストラクションの話題などに関する講義を受け、知見を広めた。



秋葉代表理事

協会員として「発注者」と同等の情報把握による実力とマネジメント力を備えることが必要と考えており、そのため

マネジメント技術を講習

講習会は約200人が会場でも本日の講習会を重要な意味で受講した。このほかに後日、あるものにしてほしい」と呼ぶ580人が動画で受講することになった。

秋葉会長は講習会について「関心の高さが伺える」と話し、官が「公共事業を取り巻く最近の話題」、石村靖技術管理

課長補佐が「総合評価落札方式」、長谷川聡技術管理課建設専門官が「業務に関する入札契約制度の取り組み等」、都鳥健一施工企画課建設専門官が「i-Construction」の主な取り組み・最近の話題」について、それぞれ講義した。

会場の受講者にはCPDSの3ユニットが付与された。同協会の講習会は技術者の専門知識の習得と技術力の向上を目的に2019年度に初めて開催した。20年度は台風21年度はコロナの影響で中止を余儀なくされた。22年度は会場とオンライン形式で開催した。